



フードロスニュートラル活動で

食品ロスから次の食品へ！
～離島との連携で行う**食品残渣堆肥**づくり～

長崎県立諫早農業高等学校 生物工学部

1

研究の動機

活用実験 栽培編

活用実験 エコフイード編

総合分析

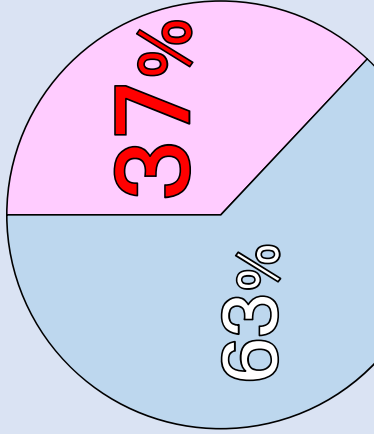
情報発信

普及活動

研究の動機

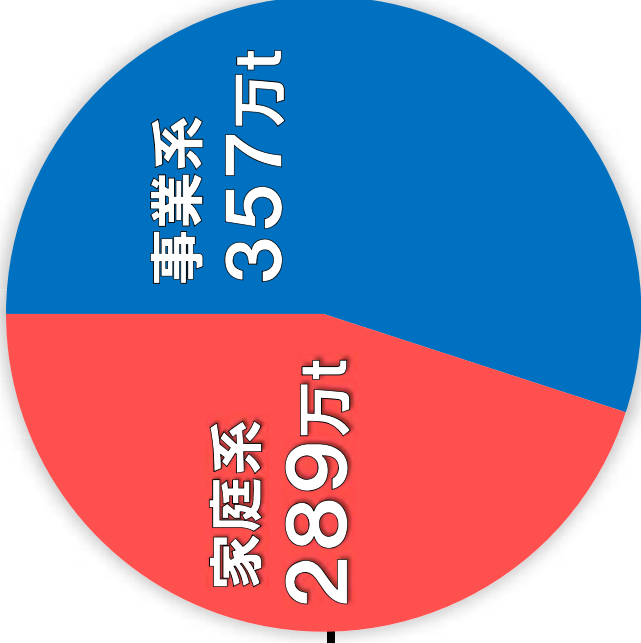


日本の食料自給率



(科目「農業と環境」P85に記載)

日本の食品ロス割合



ほぼ全て廃棄



飼料化など
食品リサイクル



年間約646万t排出 (2015年データ)

東京ドーム5個分相当



研究の動機



環境政策課
舍利倉 政司 様



◆R2年 対馬市役所より

食品残渣の農業活用について
研究依頼

研究の動機

なぜ対馬市？ ▶ 30年間の連携



黄金オニユリ
希少植物を
バイオ技術で
保護・増殖



協定締結式
H26年
日本初！
市と学校の協定

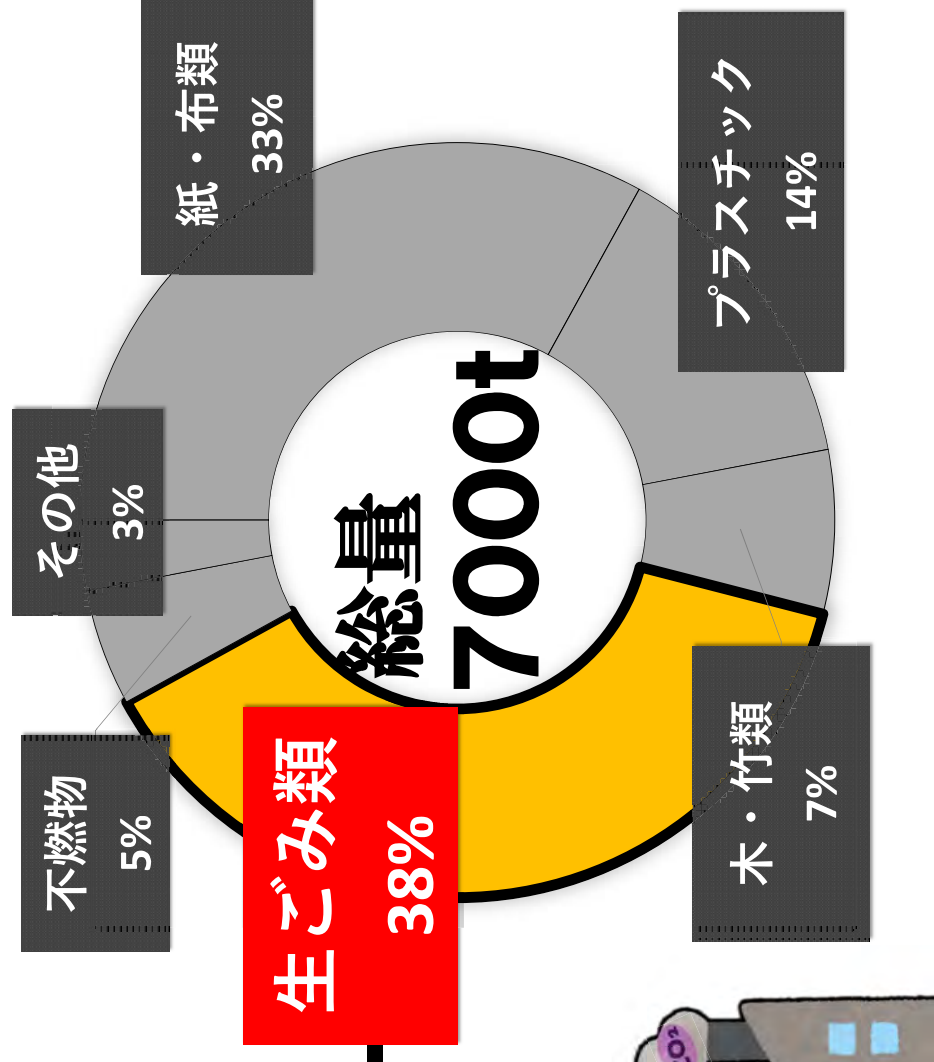


現地調査
対馬高校との
連携・
自生地調査

研究の動機

対馬市の食品ロス事情

対馬市焼却ごみ割合

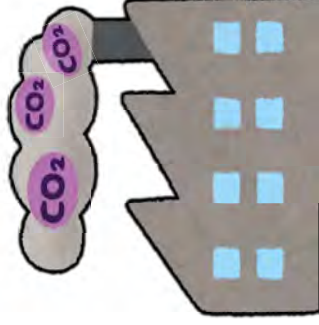


• 約5300tの

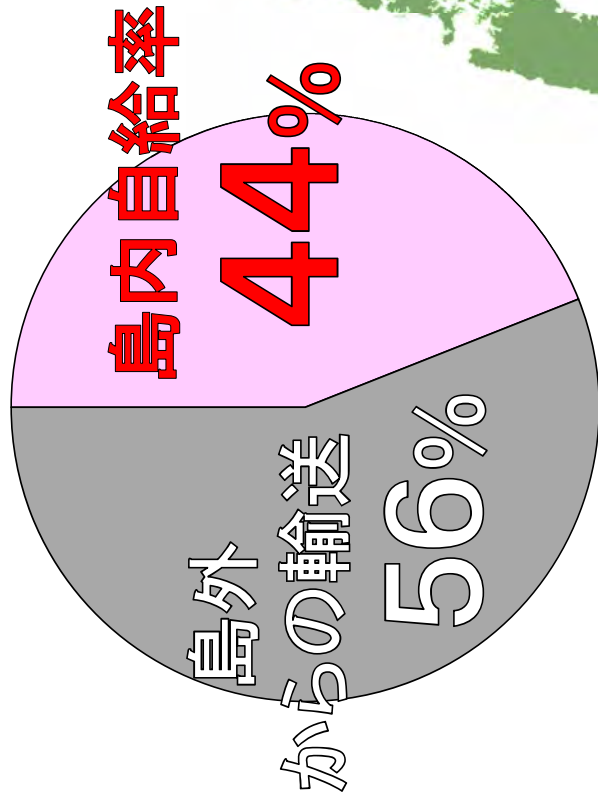
CO₂排出

• 3800万円

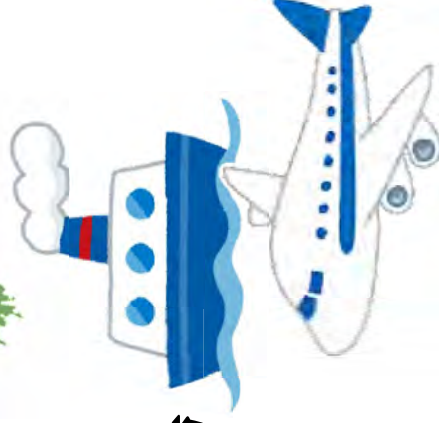
の焼却費用



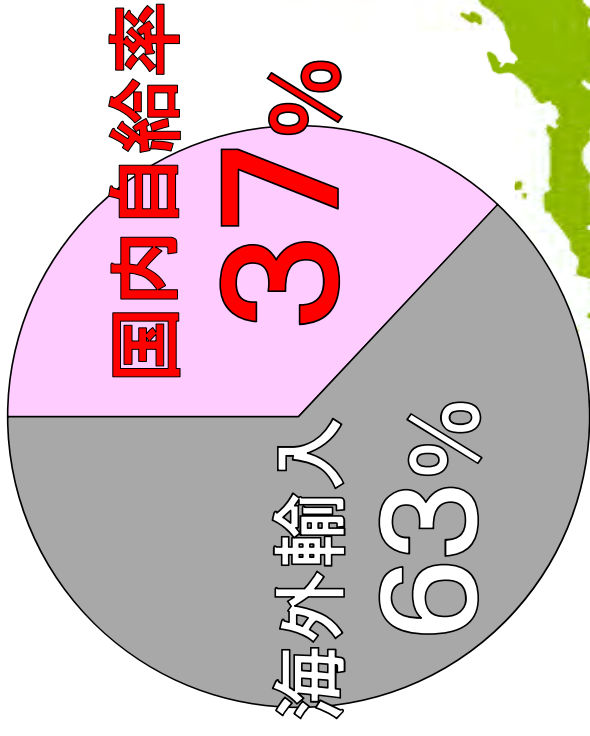
対馬市食料自給率



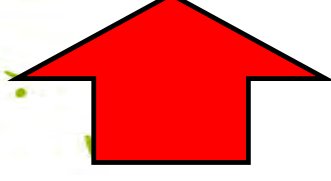
日本と対馬 共通点
食料自給率が低く離島
食料等多くの物資を
輸入に依存



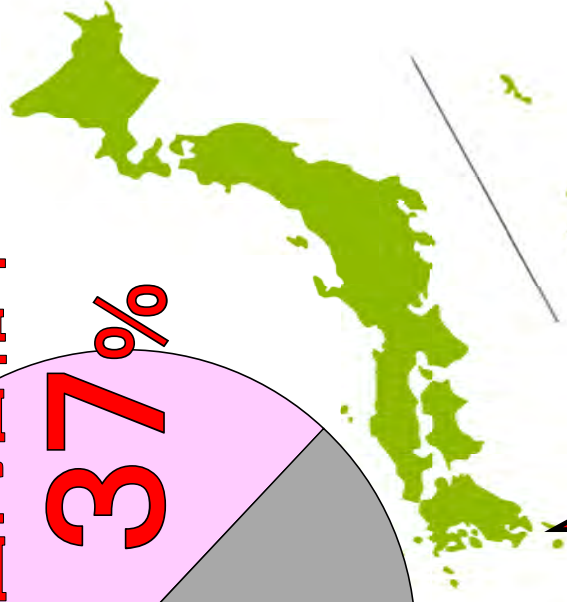
日本の食料自給率



対馬での
問題解決



日本全体
での解決



研究の動機

目標

1. 堆肥化
2. 農業活用



「活動名」

フードロスニュートラル

